

使用の歴史としては貴重な一頁を記している。

この古河電工が再び自転車に関心を払った。昨年春以来自転車工業会のとりもちで自転車業界といろいろ接触してきたが、今日すでにその成果が現われているのは心強い。前記の東京ブレーキはよく知られているが、日東ハンドルとの永い研究の末、熱処理をせずに済み、曲げるのに著しい困難を伴わず、強度の大きい材料を、数多い種類の中から発見したことは、これまたよく知られている。課題は適材の発見と熱処理にもあるだろうが、そういう専門的な話には立入らぬこととしても、古河電工が登場してきた最大の意義は、自転車関係メーカーが素性のいい材料を入手する手がかりのついたことであろう。

材料の話

この話題の中で材料の話をするには適格ではないようだが、一応の種類だけは紹介しておいた方がよさそう。

すなわちその種類は五種類ぐらいで、耐蝕性と強度の二つの面でいろいろと使用価値も異なるようである。まず強度の面で見ると、一番強いのがNP%、二番目が61SとA51S、三番目が52S、四番目が3S、こういう順序になる。次に耐蝕性からみると一番いいのが同じくNP%で二番目が52SとA51S、三番目が3Sで、四番目が61Sとなつて

いる。

この材料のことについて詳しく知りた方は日本軽金属株式会社(東京都中央区銀座西七の二)にアルミニウム・データ・ブックという緑のパンフレットがあるから、送ってもらおうとよいだろう。

部品のいろいろ

ハンドルバー 高級なサイクリング用車に使われているが、いま市場に出ているのは町山製作所の製品だけで、日東も山本も、吉貝もまだ出廻つてはいないようである。アルミニウムを使う利益は軽いこと、いくら天気が悪いときでも、錆びる心配のないこと、そしてパイプであるので強度も信頼できることである。最近アルマイト加工して、手が黒くならない人には有難い。重量はステムとセツトで六〇〇瓦。

ハンドルステム これは相当な応力に耐えなければいけない。とくにイクステンションのものは首が左右にふられるようになるので鑄物では充分には信頼できかねる。その意味ではいいものはないようだ。あまり使つて人を見ないのもその辺の事情を物語つているのかも知れない。これが鍛造品なら安心できるといわれている。

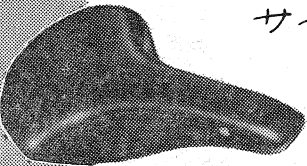
リム これはレース用にアラヤリムが数年前に完成しているが、廿七吋チューブラー用なので広く使われていなかっ

た。最近一時々及び一時々エンドリックが出来た。これは外国でも歴史が古い部品で一九三〇年代からフランスで市販されているという。日本のはまだパイプでなくムクである。錆びにくいことは何と云つても最良だが、ブレーキプロックがいまのままでは傷がつきはしないかという心配をしている人もいる。なににせよホイールの外周を軽くすることだけに最も熱望されている部品であるといえよう。これにタイヤの軽いのをセツトすれば、フレームだけ軽いよりも数段高い利益がある。重量は一ペアで一、三五〇瓦で鉄製より六五〇瓦軽い。

ハブ 三光舎のラージフランジハブほか各種ハブはサイクリストに馴染が深いので今更紹介するまでもない程有名である。同社の製品は四段クイックリリースハブ(前二四八瓦后三四三瓦、計五九二瓦)三段用では一号ジュラ(前一七六瓦后三三七瓦、計五一一三瓦)二号ジュラ(前一九三瓦后三五六瓦、計五四九瓦)三号ジュラ(前二二六瓦、后四〇〇瓦、計六二六瓦)二号レーサー(前一九三瓦后三一二瓦)等である。この場合一号二号三号の順でフランジが大きくなる。このほか総ジュラは前一七五瓦后三二〇瓦で計四九五瓦である。実用強度は長い間の使用によつて証明されている。

純レーサー用(フロントホークエンド一〇〇ミリ、リヤヤー一〇〇ミリ)は青山ハブが軽合金鍛造で古くから出ている

サイクリストが推奨する
2ワイヤー・クラブモデル用



ELASTIC

J.C.A. 推薦

エラスチック No.170

太陽のサドル

¥ 1300

株式会社 太陽製作所
本社工場 東京都三鷹市上連雀543
電話 武蔵野(022)2543・4651・4943
事務所 東京都千代田区有楽町1-5
(毎日新聞別館二階)
電話 和田倉 0627

がその強度は非常に大きく、重量は前後で四四〇瓦で最も軽い。

このほか和田ハブが試作の範囲を出ていないが市販するものも遠くはあるまいと思えるし、ユニットハブでは大日本機械がようやく市販の段階に至つたようである。

ブレーキ センターブル式のキャリパーは東京ブレーキの亜鉛ダイキャストも町山の五二Sも失敗だったが、今度の東京の軽合金鍛造は見事名譽を挽回している。最もよきライバルのある種目だけに長足の進歩をしており、軽合金部品の中では苦労しているだけに完成されていゝ。これ以上はあえていゝ必要はないほど、誇るに足ると思ふ。

TC A 集中サイクリング

所属クラブ五六を数えるようになったTC Aは、会員の親睦をかねて第二回の集中サイクリングを実施する。

期 日 四月二十一日(雨天中止)

場 所 多摩御陵前(集中)

時 刻 午前十一時

行事予定 協会現状報告「サイクリングの歌」発表指導

其他、記念品、抽籤(予定)

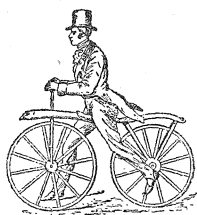
要 領 午後二時頃

散 各クラブ単位に、集中場

チエンホイール 関東ギヤ、京浜ギヤ、東京ギヤともにクランクともに軽合金のものを作つたが、現在総軽合金では京浜ギヤだけで、高木を含めて前記二者もクランクは鉄にしている。クランクは軽合金にしては京浜ギヤでは、断面積を大きくして強度をもたせている。フランスの研究によると平均寿命は一五、〇〇〇軒で鋼製の一八、〇〇〇軒よりやや劣つて

いるが、これはもう古い話なので現在ではもつと進歩しているかも知れない。重量は京浜ギヤが四六歯が四〇八瓦、四八歯で四二〇瓦で一番軽く関東ギヤはシングルが七二〇瓦、ダブルが四八と三六で八二〇瓦である。高木は四六で八三〇瓦、東京ギヤは四六歯で七〇〇瓦である。

所に適宜のコースをとり集中、親睦会を催す。



ペダル 三ヶ島ペダルの独走である。ラット・トラップ型で重量は三九〇瓦、鉄製品でも純然たる消耗品であるが、平均何軒の寿命があるかはまだ捉えられていない。

マツドガード サイクリング用車の誕生と共に出現し、発展した部品である。頭初は弱いから鉄にかえろという小売業者の要望が随分出たようだが、マツドガードは消耗品であるというサイクリストの要望のために、いつの間にかうるさく云われなくなつたが、他のどの部品にもましてその種類も多い。

あとがき

これで軽合金散歩の試みを一応終りにしたいが、軽合金製品は必ずしも恐怖すべきではないようだ。ただ現在でている軽合金製のものでも、折れる折れないは別として狂いが出るのではないかと思われようなものも、ないことはないのでは何でもかんでも軽合金になるといふ日はそんなに近くはないと考えられる。それにしても近藤紘正氏のいうように早急な結論を出さないようにしたい。これも最終的に楽できるのはサイクリストの為である。今後ますます軽合金製品は増えるだろうが、アルミニウム合金は種類が多く、選択さえ誤らねば充分鉄に挑戦できるようである。

KORAKUEN CYCLING CENTER

JCA 推薦車 部分品と服装品の専門店

完成車 ALPS 光風ケンコー 丸都スポーツ ノート 其の他 各種互具 部分品 ツーリングバックボウ

サイクリング用品 DIY-11

★クラブユニフォーム・ペナント・バッジ等の御注文も承ります

後楽園 後藤スポーツ
アスバレス前

東京都春日町1-1
TEL (92) 0757-6376-6142

貸ツアー車多数保有 1日 400円